

こんな活動やっています



“永源寺スギファンクラブ”

「永源寺スギファンクラブ」は、永源寺地区に多く植栽されている「スギ」を応援しています。

永源寺にも戦後に植林されたスギがたくさんあるのですが、今までは、森林所有者と建築主(施主)と工務店(建築業者)の三者が直接つながることがなかったため、お互いの求めているものが分かりませんでした。そのため、地域のスギを地域で使いたくても手に入れることが非常に困難になっていきます。

そこで、永源寺スギを取り巻く人々と顔の見える関係を築き、情報を共有・発信していこうと、「永源寺スギファンクラブ」を立ち上げました。いろいろな取り組みを通じて、この輪を広げていこうと考えています。

現在は東近江市箕川町を中心に活動しており、あずまや(小屋)づくりや山登り、木(永源寺産のスギなど)に親しむ木工体験、伐採体験(見学)などをおこなっています。

毎月第二水曜日十九時～二十一時頃まで、東近江地域振興局の会議室で企画会議(会員同士の情報交換や取り組みの打合せ)をおこなっています。

これからも、森林の楽しさや木の

魅力をみなさんと一緒に体感したいと思っています。木の魅力を体感してもらおうと、永源寺スギのファンと、木の良さがあふれる「木の家」が増えることを期待して、これからも活動したいと思えます。お問い合わせは会長まで。

永源寺スギファンクラブ

会長 阿野信雄あの のぶお

〒527-0203 東近江市箕川町
電話 0748-29-0452



本誌ではこのように森林で楽しんでいる活動団体や地域の木の利用に取り組んでいる団体(会社も含む)の紹介を検討しています。自薦・他薦を問いませんのでご相談下さい。



今回は、日野町にあります「グリム冒険の森」をご紹介します。グリム童話の生みの親、グリム兄弟はドイツのハーナウという町で生まれ、生涯を通してメルヘン街道をさかのぼるなか、数々の童話を収集していききました。この施設のキャンプ場と各コテージは、ドイツにあるメルヘン街道に位置する地名とルートに似ていることからその名前が付けられました。各コテージの室内には、その名前のとおりメルヘン街道に位置する地での有名なドイツの民芸品や、グリム兄弟がその地で収集した童話の絵本などが飾られています。散策にぴったりな「ブレイメンの森」は不思議がいっぱい！魔女や妖精があらわれるかも・・・?! 自然を生かした体験教室や木工教室などたくさんイベントが準備されています。天気の良い日はお子さんを連れて遊びに来て下さいね。クリンとキコも待っています。

イベント情報

バウムクーヘン作りに挑戦!
バウムクーヘンはドイツ語で森の切り株の意味。そう! グリムにピッタリのお菓子なのです。

新企画! グリム草木染め

自然の材料を生かして草木染めを楽しもう。どんな模様のハンカチになるかわくわく・ドキドキ!

マウンテンバイクミニコース
ミニコースでも走りごたえのある専用コースです。家族や仲間と一緒に楽しもう!

グリム・ウォークラリー
コースは2コース! クイズを解きながら冒険しよう。新しい発見がきっとあるはずだ!

ドラム缶風呂体験
自分たちで水を張って薪で湯を沸かします。昔ながらの風呂の焚き方を子供達に伝えたいものです。森の空気を吸いながらの露天風呂は格別ですよ。

木工体験工房 GRIMM
自然の中から集めた小枝や木の実などを自由な発想でいろんな物に変身させます!

等々

詳しくはエロをご覧ください。

グリム冒険の森管理事務所

〒529-1623 日野町熊野 431 番地

電話 0748-53-0809

FAX 0748-53-1552
http://www.ex.biwane.jp/~grimmy/



平成19年度「びわ湖水源のもりづくり月間」の活動案内

滋賀県では、平成18年度より皆さんから頂いた琵琶湖森林づくり県民税で、森林に関係する事業を実施しています。その事業の一つとして「びわ湖水源のもりづくり月間」があります。

「びわ湖水源のもりの日」である10月1日を基準として10月1日から31日までの1ヶ月間を「びわ湖水源のもりづくり月間」としており、県内各地で森づくり活動が実施されます。

東近江地域振興局管内(近江八幡市、東近江市、安土町、竜王町、日野町)においても14日(日)と20日(土)に森林整備活動をおこないます(活動に必要な道具は主催者で準備します)。

さらに27日(土)には、いろいろな体験により森林や木の魅力が再発見出来るコーナーやキノコなどの林産物の販売コーナーなどがある「森づくり交流会」が大津市なぎさ公園で開催されます。

興味のある方は、ぜひお越しください。

F M滋賀のモビィも来るよ!



詳しい内容については、東近江地域振興局森林整備課 (tel:0748-22-7718(直通)) までお問い合わせ下さい。

@10月14日(日)

場所: 東近江市五個荘石馬寺町

内容: 雑木林の除伐

(林内に日光を入れるために木を切ります)

ポイント: きぬがさ山でノコギリを使い、雑木林の手入れをおこないます。少々きつい作業があるかもしれません。

@10月20日(土)

場所: 東近江市箕川町

内容: 人工林での森林整備活動(間伐、枝打ち など)

ポイント: 日常生活で体験できない、立っている木を切り倒す作業が体験(または、見学)出来ます。

住宅に使われている木材が育っている環境を実感できます。

@10月27日(土)

場所: 大津市 琵琶湖岸なぎさ公園(ピアザ淡海付近)

内容: 森づくり交流会

(キノコなどの林産物の販売や木とふれあう体験コーナーがあります。滋賀の木を使って家を建てるグループなど、滋賀県の森林や木の情報がもりだくさん。)

ポイント: 琵琶湖を見ながら森林の中にいる気分?

ハチ・ヒル 熱中症に注意

ハチ

- 予防** 黒い服装を避ける
いい匂いのするものを身につけない
ハチや巣に近づかない
ハチを手や棒で振り払わない

- 手当て** 刺された箇所を水で洗い、毒を体外へ出す



ヤマビル

- 予防** 忌避剤をスプレーする
- 手当て** すぐにヒルをはがす、抗ヒスタミン剤を塗布

熱中症

- 予防** 水分や塩分を多めに摂る、休憩時間を十分に取る
- 手当て** 日陰に寝かし、着衣をゆるめ楽にさせる
濡れタオル等で体を冷やす
意識があれば冷水やスポーツドリンクを少しずつ飲ませる



山の道真



鋸(のこぎり)

写真の大きなノコギリは昭和の終わりまで実際に使われていたもの。ノコギリを使ったことがある人なら、これを使いこなすのが容易でないことが分かるはずだ。ましてやこれで立木を伐るなんて。このノコギリで大木を伐っていた人達の力と技には感服するしかない。まさしく、この人ありてこの道具あり。



これに対し、小さいノコギリ。よく切れ、使いやすく、そして切れなくなったら交換。誰でもお手軽に使いこなせるので、多くの人に使われている。使い手を選ぶ道具と、使い手が選ぶ道具。どちらも道具として間違っていない。そんなことを考えるとこの大ノコから尊大な声が聞こえてくるようだ。

わしを使ってみる (コラム担当 ガ)

2030年 あなたならどっち?

今から23年後の滋賀県ってどうなっているんでしょう? このままいったらA? それともB? どちらに進むかは、今の私たちの選択にかかっているのかも?



漫画・オノミユキ

編集後記

「もりん・ちゅ」創刊です! 沖縄では海人を「うみんちゅ」というのはご存知でしょうか? だから、森の人は「もりんちゅ」。そして「・ちゅ」には森への愛を込めています。森や木を好きになってくれる人が増えますように... 森林の今を伝えられるように... 未来を考えるきっかけにしてもらえるように... 欲張りだけど頑張ります! (編集担当 うめ)